

経営状況の概要（平成27年度）

1 団体概要

団体名	公益財団法人郡山市観光交流振興公社			設立年月日	平成1年7月18日
所在地	郡山市安積町成田字東丸山61番地			設立根拠	一般法人法第163条 公益法人認定法第4条
電話番号	947-1600	FAX番号	945-3882	所管部課	産業観光部観光課
事業内容	◎公益目的事業 (1)地域の振興に関する事業 (2)観光の振興に関する事業 (3)スポーツの振興に関する事業 (4)畜産の振興に関する事業 (5)都市緑化の振興に関する事業 (6)児童・青少年の健全な育成に関する事業 (7)その他公益目的を達成するために必要な事業 ◎その他の事業 (1)畜産加工品の製造及び販売に関する事業 (2)公園緑地内の食堂及び売店に関する事業 (3)その他公益目的事業の推進に資する事業				
ウェブサイトアドレス	http://www.koriyama-kankoukouryu.jp/				

2 財務状況（単位：千円）

資本金(基本金)等	90,000	千円	市出資(出捐)金	90,000	千円	出資比率	100.0	%
-----------	--------	----	----------	--------	----	------	-------	---

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
貸借対照表	総資産	383,160	312,110	320,978
	負債	128,764	51,813	43,036
	(うち有利子負債)	(0)	(0)	(0)
	資本	254,396	260,297	277,943
	累積欠損金	0	0	0
損益計算書	総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	945,743	651,762	656,917
	経常収支差額	△1,646	4,913	19,579
	当期損益	△2,213	5,901	17,646
	減価償却前当期損益	4,360	13,247	24,695

3 従業員の状況

役員数	11	市からの出向者・退職者	2	職員数※	21	市からの出向者・退職者※	0
役員平均年齢	60.1	常勤役員の平均年収(千円)※	4,725	職員平均年齢※	46.2	職員の平均年収(千円)※	6,379
		非常勤役員の平均年収(千円)※	20	人件費(千円)	253,113	収入合計人件費率(%)	38.5

※は報酬を支給する役員分のみ記載 ※は正規職員分のみ記載（人件費、収入合計人件費率は全職員対象）

4 団体への市関与の状況

(1) 公的支援

（単位：千円）

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考(目的、内容、算出根拠等)
① 補助金(助成金)	78,716	87,271	96,641	法人管理費補助、退職給付金補助、畜産調査研究事業費補助
② 利子補給金	0	0	0	
③ 税の減免額	0	0	0	
④ その他()	0	0	0	
小計	78,716	87,271	96,641	
⑤ 損失補償契約に伴う金利軽減額	0	0	0	
⑥ 出資金、低利貸付等に伴う機会費用	0	0	0	
小計	0	0	0	
合計	78,716	87,271	96,641	

委託料(指定管理料を除く)	5,245	8,513	8,744	郡山市観光案内所
指定管理料	448,173	336,654	327,763	郡山カルチャーパーク・21世紀記念公園、郡山石筵ふれあい牧場
指定管理への収入依存度(%)	47%	52%	50%	指定管理料/総収入

(2) その他

（単位：千円）

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考(目的、内容、算出根拠等)
損失補償契約に係る債務残高	0	0	0	
① (将来負担額)	(0)	(0)	(0)	
(将来負担算入率)	(0)	(0)	(0)	
② 貸付金残高	0	0	0	
③ 出資金	90,000	90,000	90,000	
合計	90,000	90,000	90,000	

5 監査等の結果

※内部監査、外部監査、行政庁検査等

監査等種類	① 内部監査(監事)	② 財務会計指導業務(税理士)	③
実施時期	平成28年5月20日	平成27年5月13日、平成27年11月18日	
指摘・意見	保存期間が経過した文書が存在するため、文書漏洩のリスク等を考慮し、適正に処分すること。	特になし	
対応状況	文書取扱規程に基づく文書管理を徹底するため、平成28年度の「カイゼン運動」の一環として取り組む。	-	

6 経営改善の取組状況(課題や展望を含む)及び自己評価

7 市の評価

新たな取り組みとして、ドリームランド格安チケットの発売日拡大のほか、自主財源(決算剰余金)を活用した施設等の整備及び市のイメージキャラクター「かくとくん」「おんぶちゃん」のモニュメントの設置、さらに夏休み期間における市内の小中学生及び旅館・ホテル宿泊者に対する無料招待を実施するなど、市民交流及び交流人口の拡大並びに利便性の向上に努めた。結果、管理施設全体の利用者数は前年度と比較して約9.3%、利用料金収入は約7%、それぞれ増加するなど、地域の活性化に一定の役割を果たせたものと考えている。

経費面においては、引き続き季節雇用やローテーション勤務の活用など、効率的な運営により人件費の抑制を図った。

このような取り組みの結果、経常収支差額(経常収益)が前年度比約4倍となるなど財団の経営状態は良好(健全)であるものと考えている。

今後においても、少子高齢化社会の進展など、都市を取り巻く社会状況を的確に捉えたとともに、地域にとって必須の社会インフラとして役割を果たせるよう、組織的な「カイゼン運動」を行い、一層の利用者サービス及び経費削減に努めたい。

JR郡山駅2階に設置している観光案内所の運営業務を受託しており、「ふくしまDC」の周遊企画の受付窓口も実施し、平成27年度と同案内所の利用者数は対前年度比で9.2%増加、問合せ件数も6%増加するなど、郡山エリア観光の総合窓口としての役割を果たすほか、指定管理施設(郡山カルチャーパーク、石筵ふれあい牧場)においても、利用者数・利用料金周遊が増加するなど、交流人口の拡大に寄与していることが認められる。

経営状態においても、経常収支差額が大幅に改善されており、今後も、施設間はもとより地域や関係団体と連携しながら、利用者サービスの向上及び経費削減を実施し、交流人口のさらなる拡大に寄与することを期待するところである。